

## オランダから日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件（仮訳）

オランダから日本向けに輸出される馬（以下「輸出馬」という。）の家畜衛生条件は、次によることとする。

- 1 オランダ国内には、水胞性口炎、アフリカ馬疫、馬痘、馬脳脊髄炎（東部-、西部-、ベネズエラ-、日本-及びウエストナイル）、鼻疽、類鼻疽、仮性皮疽、トリパノソーマ病及び野兔病が存在しないこと。
- 2 輸出馬の飼養施設においては、後記 6 の検査開始前少なくとも 6 ヶ月の間、馬伝染性貧血、馬インフルエンザ、馬ウイルス性動脈炎、狂犬病、馬鼻肺炎、馬パラチフス、馬伝染性子宮炎、馬ピロプラズマ病、炭疽、馬モルビリウイルス肺炎及びニパウイルス感染症が臨床的又は血清学的に摘発されなかったこと。
- 3 輸出馬は上記 2 の場所において後記 4 の出国検査開始前少なくとも 60 日間飼養されていたものであること。
- 4 輸出馬は、オランダ政府機関により家畜防疫上安全と認められた検査施設において、日本向け船積み前に少なくとも 7 日間、隔離されたこと。出国検査開始後は、当該輸出馬以外の馬と接触しなかったこと。輸出馬は、検査期間中オランダ政府獣医官の検査を受け、伝染性疾病の徴候がなかったこと。馬ウイルス性動脈炎のワクチンを接種された種牡馬については、別紙のとおりとする。
- 5 輸出馬は、輸出の日にオランダ政府獣医官による臨床検査を受け、伝染性疾病の徴候が認められなかったこと。
- 6 輸出馬は、日本向け船積み前 30 日以内に次の検査を受けて陰性であること。
  - (1) 馬 伝 染 性 貧 血           ゲル内沈降反応
  - (2) 馬ウイルス性動脈炎       ①ワクチン未接種馬：補体添加法による血清中和試験（1:4 陰性）  
②ワクチン接種馬（種牡馬に限る）：別紙のとおり。
  - (3) 馬 パ ラ チ フ ス       Salmonella Abortus-equi について試験管凝集反応（血清希釈 1:320 で陰性）
  - (4) 馬ピロプラズマ病       血液塗抹標本の鏡検及び間接蛍光抗体法又は C F テスト
  - (5) 馬 伝 染 性 子 宮 炎       生殖器由来材料についての細菌培養検査（7 日間隔で 3 回採取した材料について実施。ただし、交配に使用されたことのない馬及び去勢馬を除く。）

- 7 輸出馬は、前記4の出国検疫前1年以内に4から6週間隔で2回（補強接種の場合は1回）、馬インフルエンザの予防注射を受けたものであること。
- 8 輸出馬の輸送に使用する輸送箱、車輛及び船舶又は航空機へのとう載場所は、事前に清掃の上、オランダ政府機関の監督の下に同機関が認可した消毒薬で消毒されたものであること。
- 9 輸出馬は、オランダ国内における輸送中、当該輸出馬以外の馬と接触しなかったこと。オランダ政府機関は、輸送者に対し、輸送用船舶・航空機には当該輸出馬以外の馬を混載しないよう指示すること。
- 10 輸出馬の日本への輸送に使用する飼料及び敷料は、前記4の出国検疫施設において使用されたものと同一ロットのものであること。
- 11 オランダ政府機関は、輸送者に対し、輸出馬の日本への輸送中、寄港地において、輸送用船舶・航空機に飼料及び敷料を補給しないよう指示すること。
- 12 オランダ政府機関は、次の各事項を英文で具体的に記載した輸出馬の検査証明書を発行すること。
  - (1) 輸出馬の名前（個体識別標識、入墨番号その他個体識別に必要な特徴）、頭数、輸出者、輸入者の氏名及び住所、生産国、輸送方法
  - (2) 前記1～5及び7～11の各事項
  - (3) 前記6に掲げる検査対象疾病ごとの検査実施年月日、検査方法及び検査結果  
ただし、馬ウイルス性動脈炎のワクチンを接種された種牡馬の場合は、別紙の各事項が満足されていること。また、ワクチンの種類、飼養農場（1回）及び出国検疫施設（2回）におけるそれぞれの採血年月日、当該血清の中和試験の実施年月日及び結果、交配試験を実施した場合には交配試験に供する2頭の雌馬のけい留直前及び交配後の2回の採血年月日と検査結果
  - (4) 馬インフルエンザワクチンの接種年月日、ワクチンの種類（ウイルス株名を含む）、ワクチン製造元
  - (5) 輸出馬が馬インフルエンザ以外のワクチン接種を受けている場合には、その種類、接種年月日、ワクチン製造元
  - (6) 輸出馬の飼養施設の名称及び所在地
  - (7) 出国検疫開始年月日及び終了年月日
  - (8) 公の検疫施設の名称及び所在地
- 13 当該家畜衛生条件の上記各項目にかかわらず、日本での輸入検疫中に家畜の伝染性疾病が摘発された場合には、日本の動物検疫所によって当該摘発馬の返送及び処分を行うことができる。

ワクチン接種種牡馬については、次の条件をすべて満たすものであること。

- (1) ワクチン接種種牡馬については、ワクチン接種直前に採血が行われ、当該血清について中和試験を実施した結果 1 : 4 陰性であったことが輸出国政府機関により確認されていること。
- (2) ワクチン接種種牡馬については、飼養農場で 1 回、出国検疫施設で 2 回採取し、3 点血清について中和試験を同時に実施し、抗体価については各血清間で有意の上昇（4 倍を含む\*）がないか又は下降していること。この場合、採血間隔は概ね 2 週間で、かつ、3 回目の採血は船積み前 10 日間以内に行われること。

\*: 1:4 → 1:16 有意の上昇とみなす

- (3) (2) の中和試験の結果、ワクチン接種種牡馬に抗体の保有が認められる場合には、交配試験を実施する。ワクチン接種種牡馬との交配に供する雌馬 2 頭については、日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件を充足するものであって、ワクチン接種種牡馬の日本向け積み出し前 30 日間はワクチン接種種牡馬とともに出国検疫施設にけい留され、以下の検査の結果、陰性であること。
  - ① 雌馬 2 頭については、出国検疫施設でのけい留直前に採血が行われ、当該血清について中和試験を実施した結果、1 : 4 陰性であること。
  - ② 雌馬 2 頭については、30 日間のけい留期間中に、ワクチン接種種牡馬によってそれぞれ 1 日 2 回、2 日間にわたって交配されたものであり、最終交配日から 14 日目及び 28 日目に採血が行われ、当該血清について中和試験を実施した結果 1 : 4 陰性であること。
  - ③ 雌馬 2 頭については、30 日間のけい留期間中に、馬ウイルス性動脈炎を疑う臨床症状を示さなかったものであること。

## オランダから日本向けに輸出される馬の家畜衛生証明書

- 輸出馬の名前（個体識別標識、入墨番号その他個体識別に必要な特徴）、頭数、輸出者、輸入者の氏名及び住所、生産国、輸送方法

- 1 輸出馬は、輸出の日にオランダ政府獣医官による検査を受け、馬の伝染性疾病の症状が認められなかった。
- 2 輸出馬の飼養施設においては、検査開始前少なくとも6ヵ月の間、馬伝染性貧血、馬インフルエンザ、馬ウイルス性動脈炎、狂犬病、馬鼻肺炎、馬パラチフス、馬伝染性子宮炎、馬ピロプラズマ病、炭疽、馬モルビリウイルス肺炎及びニパウイルス感染症が臨床的又は血清学的に摘発されなかった。
- 3 輸出馬は上記2の場所において検疫開始前少なくとも60日間飼養されていた。

飼養農場名、住所 \_\_\_\_\_

- 4 オランダ国内には、水胞性口炎、アフリカ馬疫、馬痘、馬脳脊髄炎（東部-、西部-、ベネズエラ-、日本-及びウエストナイル）、鼻疽、類鼻疽、仮性皮炎、トリパノソーマ病及び野兔病が存在しないこと。

- 5 輸出馬は日本向け船積み前30日以内に次の検査を受けて陰性であること。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| (1) 馬 伝 染 性 貧 血   | ゲル内沈降反応（検査日）                                 |
| (2) 馬ウイルス性動脈炎     | 補体添加法による血清中和試験（検査日）                          |
| (3) 馬 パ ラ チ フ ス   | Salmonella Abortus-equi について試験管凝集反応（検査日）     |
| (4) 馬ピロプラズマ病      | 血液塗抹標本の鏡検、及び、間接蛍光抗体法又はCFテスト（検査日）             |
| (5) 馬 伝 染 性 子 宮 炎 | 生殖器由来材料についての細菌培養検査（7日間隔で3回採取した材料について実施）（検査日） |

- 6 輸出馬は、出国検疫前1年以内に4から6週間隔で2回（補強接種の場合は1回）、馬インフルエンザの予防注射を受けたものであること。

ワクチン接種日	ワクチンの種類	ワクチン株名	製造所名
_____	_____	_____	_____

7 輸出馬は、公の検疫施設において、日本向け船積み前に少なくとも7日間、隔離された。出国検疫開始後は、当該輸出馬以外の馬と接触しなかった。

名 称： \_\_\_\_\_

住 所： \_\_\_\_\_

検疫開始日 \_\_\_\_\_ 終了日 \_\_\_\_\_

出国検疫開始後は、当該輸出馬以外の馬と接触しなかった。輸出馬は、検疫期間中、オランダ政府獣医官による検査を受け、伝染病の臨床的徴候は認められなかった。

8 輸出馬の輸送に使用する輸送箱、車輛及び船舶又は航空機へのとう載場所は、事前に清掃の上、オランダ政府機関の監督の下に同機関が認可した消毒薬で消毒されたものであること。

9 輸出馬は、オランダ国内における輸送中、当該輸出馬以外の馬と接触しなかった。オランダ政府機関は輸送用船舶・航空機に対し、当該輸出馬以外の馬を混載しないよう指導した。

10 輸出馬が馬インフルエンザワクチン以外のワクチン接種を受けている場合は、その詳細は以下のとおり：

ワクチンの種類	接種年月日	製造所名
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

馬ウイルス性動脈炎ワクチン接種種牡馬については：

輸出される馬は種牡馬であり、馬動脈炎ワクチンを接種されている。家畜衛生条件の別紙に則って検疫を行った。詳細は以下のとおり：

1) ワクチン接種前に中和試験を実施した結果陰性であった（可能であれば検査年月日）

ワクチン接種年月日 \_\_\_\_\_

2) ワクチン接種種牡馬については、飼養農場で1回、出国検疫施設で2回、2週間間隔で採血、3回目の採血は船積み前10日間以内に行った。その3点血清について同時に補体存在下で中和試験を実施した。それらの採血日と検査結果は以下のとおり：

馬ウイルス性動脈炎ワクチン接種種牡馬：

ワクチンの種類 \_\_\_\_\_

検疫開始日及び終了日 \_\_\_\_\_

使用農場における採血日 \_\_\_\_\_

検疫施設における採血日（2回） \_\_\_\_\_

試験実施日及び3検体についての結果 \_\_\_\_\_

3) 2) の中和試験の結果、ワクチン接種種牡馬に抗体の保有が認められたため、雌馬2頭による交配試験を実施した。ワクチン接種種牡馬との交配に供する雌馬2頭は日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件を充足しており、日本向けワクチン接種種牡馬の積み出し前30日間、ワクチン接種種牡馬とともに出国検疫施設にけい留された。以下の検査が実施され、結果は陰性であった：

i 雌馬2頭から、出国検疫施設でのけい留直前に採血し、当該血清について中和試験を実施した結果、1：4陰性であった。

ii 雌馬2頭は、30日間のけい留期間中に、ワクチン接種種牡馬によってそれぞれ1日2回、2日間にわたって交配され、最終交配日から14日目及び28日目に採血し、当該血清について中和試験を実施した結果 1：4陰性であった。

iii 雌馬2頭は、30日間のけい留期間中に馬ウイルス性動脈炎の症状を示さなかった。

試験用牝馬

交配試験開始日及び終了日 \_\_\_\_\_

交配前採血日及び検査結果 \_\_\_\_\_

最終交配後採血日 (X2) 及び検査結果 \_\_\_\_\_

11 輸出馬の日本への輸送に使用する飼料及び敷料は、出国検疫施設において使用されたものと同ロットのものであること。

12 オランダ政府機関は、輸送用船舶・航空機に対し、輸出馬の日本への輸送中、寄港地において飼料及び敷料を補給しないよう指導した。

## **Animal health requirement for horses to be exported to Japan from the Netherlands**

The animal health requirements for the horse(s) to be exported to Japan from the Netherlands (hereinafter referred to as "the exported horse") are follows:

1. The Netherlands has been free from vesicular stomatitis, African horse sickness, horse pox, equine encephalomyelitis (Eastern, Western, Venezuelan, Japanese and West Nile), glanders, melioidosis, epizootic lymphagitis, equine trypanosomiasis and tularemia.
2. There have been no clinical signs or serological positive cases of equine infectious anemia, equine influenza, equine viral arteritis, rabies, equine rhinopneumonitis, equine paratyphoid, contagious equine metritis, equine piroplasmiasis, anthrax, equine morbilli virus infection, and Nipah virus infection on stabling premises for at least 6 months before the commencement of the examination stated in 6.
3. The exported horse shall be stabled on the premises stated in 2 for at least 60 days immediately before the commencement of the quarantine stated in article 4.
4. The exported horse shall be isolated in a quarantine station authorized by the government of the Netherlands for at least 7 days immediately before shipment to Japan. After the entry into the above mentioned station the exported horse shall not be in contact with any other equine animals other than those intended for exportation to Japan. The exported horse shall show no clinical signs of infectious diseases through the inspections conducted by the government veterinarians of the Netherlands during the quarantine period. However, in case that the exported horse is a stallion that was vaccinated against equine viral arteritis, the quarantine station shall be carried out in accordance with ANNEX.
5. The exported horse shall be inspected and be found free of clinical symptoms of any infectious diseases by the government veterinarians of the Netherlands on the day of exportation.
6. Within the period of 30 days immediately before shipment to Japan, the exported horse shall be examined with negative results for the following diseases:
  - (1) Equine infectious anemia: Agar gel immunodiffusion test
  - (2) Equine viral arteritis : Serum neutralization test in the presence of complement (negative at a dilution of 1:4), or as per ANNEX if the exported horse is a stallion vaccinated against equine viral arteritis.
  - (3) Equine paratyphoid : Tube agglutination test for Salmonella Abortus-equi (negative at a dilution of 1:320)
  - (4) Equine piroplasmiasis : Microscopic examination of blood smear sample, and indirect fluorescent antibody test or CF test
  - (5) Contagious equine metritis: Bacterial culture using specimens taken 3 times with an interval of 7 days from genital organs. (The horse which has never been used for mating or which was castrated is exempted from the bacterial culturing test.)

7. Within 1 year prior to the commencement of quarantine stated in 4, the exported horses shall be vaccinated against equine influenza twice at 4 to 6 weeks intervals (or once for booster).
8. All the containers, vehicles and loading places of the ship/aircraft to be used for the transportation of the exported horse shall be cleaned up in advance of loading and thoroughly disinfected under the supervision of the government authorities of the Netherlands with chemicals approved by the said authorities.
9. During the transportation period in the Netherlands, the exported horse shall be kept isolated from equine animals other than those intended for exportation to Japan. Instruction shall be given by the government authorities to the transporter not to mix loading other equine animals on board the ship/aircraft used for the transportation of the exported horse to Japan.
10. Feed and bedding to be used during the transportation period of the exported horse to Japan shall be provided with the same source used for the quarantine stated in article 4.
11. Instruction shall be given by the government authorities to the transporter not to use additional feed nor bedding provided at any port of call throughout transportation of the exported horses to Japan.
12. The government authorities of the Netherlands are responsible for issuing the health certificate for the exported horses, stating in English each of the following items in detail:
  - (1) Name (Identification, tattoo number, other futures for identification) of the exported horse(s), number, exporter, name and address of consignee, country of origin and means of transport.
  - (2) Article 1 to 5 and 7 to 11 mentioned above.
  - (3) Dates, methods and results of the inspections for each disease listed article 6.

In case that the exported horse is a stallion that was vaccinated against equine viral arthritis, the said horse shall satisfy all the conditions in article 2 of the ANNEX. Kind of vaccine, each sampling date and the test result of blood samples taken from the stallion at the premises (1 time) and at the quarantine station (2 times), each sampling date and test result of blood samples from two test mares to be subject to covering tests immediately prior to entering quarantine of two test mares, and the blood samples (2 times) after the last covering.
  - (4) Date of vaccination, kind of vaccine (including a name of the strain) and producer of the equine influenza vaccine.
  - (5) Kind of vaccine, date of vaccination and name of the vaccine producer, when vaccines other than equine influenza vaccine were applied to the exported horse.
  - (6) Name and address of the stabling premises of the exported horse.
  - (7) Quarantine period with starting and ending dates.
  - (8) Name and address of the official quarantine station.
13. Aside from the items of the animal health requirements, in case that any infectious disease is detected during the quarantine period in Japan, the exported horse may be returned or slaughtered by the animal quarantine service of Japan.



## ANNEX

Vaccinated stallion shall satisfy all of the following requirements.

- (1) The government authorities of exporting country shall have confirmed that blood sample was taken from the vaccinated stallion immediately prior to the vaccination and that the serum was subjected to the serum neutralization test with negative result at serum dilution 1:4.
- (2) Three blood samples shall be taken from the vaccinated stallion one time on the premises and two times at an official quarantine station, and these three sera shall be at the same time subjected to the serum neutralization test in the presence of complement, with a result of either no significant rise (including fourfold\*) antibody level or declining antibody level between these serum. In this case, the interval of taking blood samples shall be about 2 weeks, and the third blood sample shall be taken within 10 days prior to the shipment.

\* : For example, a rise from 1:4 to 1:16 shall be regarded as “significant rise”.

- (3) In case antibody levels are found maintained in the vaccinated stallion as the result of the serum neutralization test in (1), the said stallion shall be subjected to covering test. Two test mares shall be used for a covering test. They shall satisfy the requirements for the horse to be exported to Japan and shall be isolated at the same official quarantine station together with the vaccinated stallion during the 30 days prior to the shipment of the vaccinated stallion to Japan. The following tests have been done with negative results:
  - i Blood samples shall be taken from the two test mares immediately prior to entering quarantine station and subjected to the serum neutralization test in the presence of complement. They showed negative results at serum dilution 1:4.
  - ii During the 30 days pre embarkation period each of the two mares have been covered by the vaccinated stallion twice a day for two days and at the 14th day and the 28th day respectively after the last covering, blood samples have been taken from each of the two test mares and were subjected to the serum neutralization test in the presence of complement with negative results at serum dilution 1:4.
  - iii The two test mares have been found free of signs or symptoms of equine viral arteritis during the 30 days quarantine period.